

令和2年2月7日

磐田市議会議長 寺田 幹 根 様

会派名 きずなの会
代表者 山田 安邦

会派行政視察研修等 報告書

下記により行政視察研修等の結果について、磐田市議会政務活動費の交付に関する規則第5条第2項の規定により、下記のとおり報告します。

記

期 間	令和2年2月10日(月)～令和2年2月11日(火・祝) 2日間
視察先 研修会 日 程	(1) 2月10日(月) 13:00 ～16:40 (2) 2月11日(火・祝) 10:00 ～14:40
参 加 議 員	山田安邦、鈴木正人、戸塚邦彦、小栗宏之
調 査 事 項	<p>第22期 自治政策特別講座 2020年度の予算審議 まちづくりと自治体議会 会場 KFCホール2nd (東京都墨田区横綱1-6-1)</p> <p>【2月10日】 第1講義：2020年度の地方財政、傾向と審議のポイント 第2講義：地域の暮らしを支える行財政システム</p> <p>【2月11日】 第3講義：長生きできる町を作ろう 第4講義：地域づくりと地方財政</p>



きずなの会会派研修報告

【調査内容】

令和2年2月10日(月) 13:00~16:40

2月11日(火・祝) 10:00~14:40

研修会場：東京都墨田区 KFC ホール 2nd

第22期 自治政策特別講座 「2020年度の予算審議—まちづくりと自治体議会」 に参加

2月10日(月)

第1講義 13:00~14:40

宮崎 雅人 埼玉大学大学院人文社会科学部准教授

○講義議題

2020年度の地方財政、傾向と審議のポイント

地方財政の仕組みと2020年度地方財政の傾向や問題点から、議会で審議すべきポイントについて、予算書や決算書を解説。財政という観点から、議会人としてのあり方について考える。

第2講義 14:50~16:30

武田 公子 金沢大学人間社会学域経済学類教授

地域の暮らしを支える行財政システム—地方債・積立金の活かし方

地域創生が本当に地域のためになるためには、自治体議会での議論次第。自治体財政の過度な経費削減と積立金増加など歪んだ実態をただし、地方債を賢く使うこれからの財政運営を考える。

2月11日(火・祝)

第3講義 10:00~11:40

近藤 克則 千葉大学教授

長生きできる町をつくろう—健康格差社会縮小をめざして

「まちの環境」が住民の寿命を決める。講師の調査で明らかになる健康格差とその原因。本人の努力だけでなく環境にも左右される健康格差をなくし、社会環境を整えることの重要性の理解を深め、町づくりの基礎を考える。

第4講義 13:00~14:40

沼尾 波子 東洋大学教授

地域のつながりを支えている公共プラットフォーム構築と自治体の役割。各地の事例を手掛かりに、地域づくりのヒントと住民の生活を守りつなげていく行財政運営について考える。

【考 察】

- ・市債残高が直ちに健全化判断基準悪化とは限らない。
- ・財源調達と世代間公平性について…人口移動を含めて考える。
- ・公共施設を建設する時、市債と基金のどちらの活用が適当か。
- ・臨時財政対策債と市債との関係をどうとらえるか。
- ・健康づくりの為に、2次予防からゼロ次予防へ。
- ・日本の人口、江戸時代初頭 800 万人、明治期末 3,000 万人、現在 12,600 万人
経済成長時代の終焉とともに人口の数から生活の質へ。

これまで当たり前と考えてきた事が実は違っているのでは。大変参考になった研修でした。